



2015年2月期 第3四半期

# 決算説明会

2015年1月9日

株式会社メディアドウ

東証マザーズ 3678

<http://mediado.jp/>



- 1 **ビジネスモデル／ミッション**
- 2 **2015年2月期 第3四半期ハイライト**
- 3 **2015年2月期 第3四半期レビュー**
- 4 **電子書籍事業の進捗状況**
- 5 **今後の成長戦略**
- 6 **参考資料**



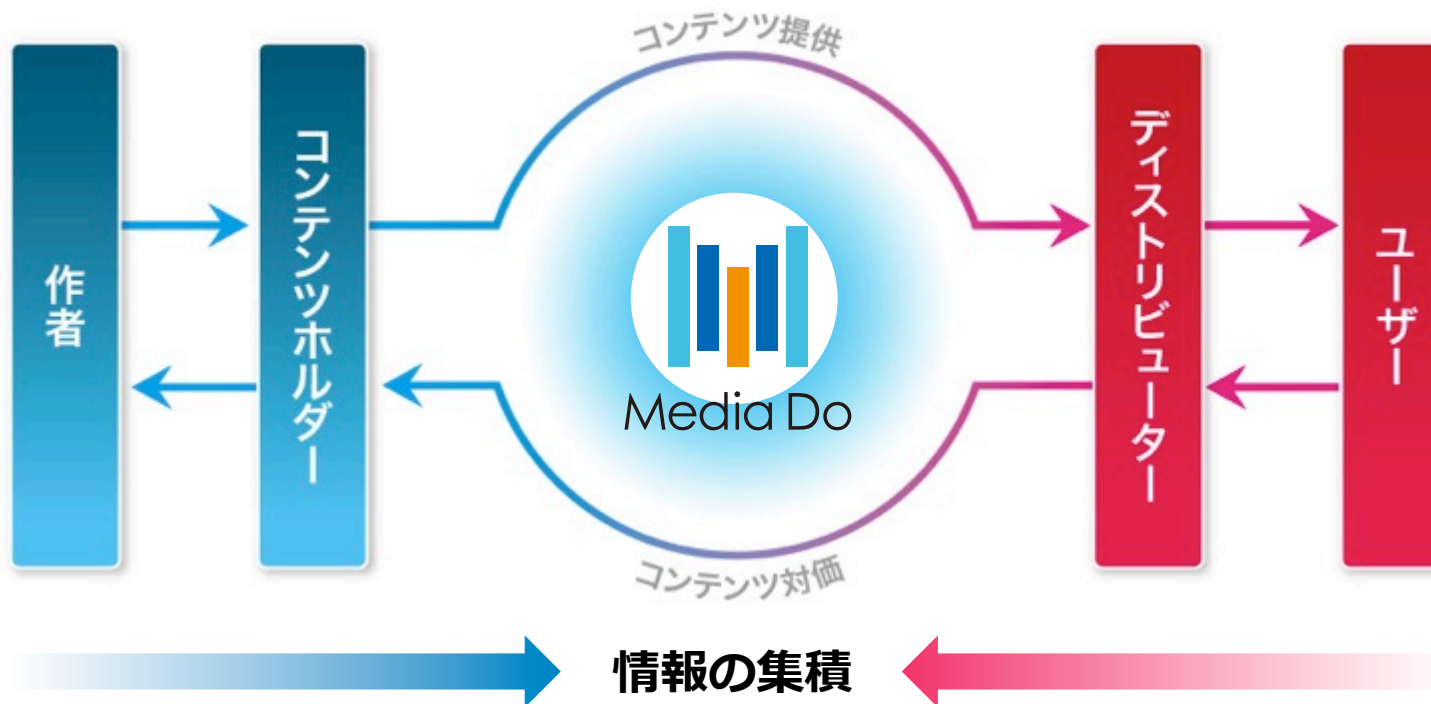
- 1 **ビジネスモデル/ミッション**
- 2 2015年2月期 第3四半期ハイライト
- 3 2015年2月期 第3四半期レビュー
- 4 電子書籍事業の進捗状況
- 5 今後の成長戦略
- 6 参考資料



# 事業モデル

当社の事業モデルは、システムを活用した「著作物のデジタル流通事業」です。電子書籍を中心として、音楽、映像、ゲーム等の配信事業を推進。

## 著作物のデジタル流通事業



ひとつでも多くのコンテンツを、  
ひとりでも多くの人に届けること。

私たちメディアドゥは、著作物を公正利用のもと、私たちの力で出来る限り広く頒布し著作者に収益を還元するという

## “著作物の健全なる創造サイクルの実現”

を事業理念と掲げ、この日本における文化の発展、及び豊かな社会づくりに貢献したいと考えています。



著作権法 第一章 総則 第一節 通則 第一条 この法律は、著作物並びに実演、レコード、放送及び有線放送に関し著作者の権利及びこれに隣接する権利を定め、これらの文化的所産の公正な利用に留意しつつ、著作者等の権利の保護を図り、もって文化の発展に寄与することを目的とする。



- 1 ビジネスモデル／ミッション
- 2 **2015年2月期 第3四半期ハイライト**
- 3 2015年2月期 第3四半期レビュー
- 4 電子書籍事業の進捗状況
- 5 今後の成長戦略
- 6 参考資料



# 2014年度第3四半期のトピックス

## トピックス

### 9月

#### マンガの翻訳クラウドソーシングスキーム“MagaHon”の開発開始

オンラインで翻訳業務を受発注できる、マンガに特化したクラウド型翻訳プラットフォーム

### 10月

#### スマートフォンアプリに特化した新たな電子書籍プラットフォームの提供を開始

「探す」「買う」「読む」が一つのアプリ上で完結し、ユーザーの使い勝手が向上した電子書籍プラットフォーム

#### LINE・講談社・小学館と共に“LINE マンガ”のグローバル展開のための合併会社発足

当社を含む4社で、“LINE マンガ”のグローバル展開のために、合併会社 LINE Book Distribution 株式会社を発足

### 11月

#### 第16回 図書館総合展に出展し、メディアドゥが手掛ける電子図書館事業を公表

5月に事業提携を公表した、米国のOverDrive社とメディアドゥが手掛ける国内電子図書館事業について、図書館関係者が集まる国内最大イベント図書館総合展で公表いたしました。

#### 慶應義塾大学メディアセンターでOverDrive電子図書館システムの実証実験を開始

国内では初となるOverDriveの電子図書館システムと慶應義塾大学メディアセンターの蔵書検索システム及び共通認証システムをシームレスに連携させるシステム検証を実施



## 2014年度第3四半期の営業状況

電子書籍事業が業績拡大を牽引し、前年同期比は増収増益を維持。

### 2015年2月期 第3四半期 (2014年9月~11月)

**売上高 : 1,932百万円 (前期比135.0%)**

→ **電子書籍売上 : 1,607百万円 (前期比 133.7% 売上構成比 83.2%)**

**営業利益 : 105百万円 (前期比129.3%)**

### 2015年2月期 第3四半期累計 (累計 : 2014年3月~11月)

**売上高 : 5,555百万円 (前期比139.3%)**

→ **電子書籍売上 : 4,773百万円 (前期比 145.1% 売上構成比 85.9%)**

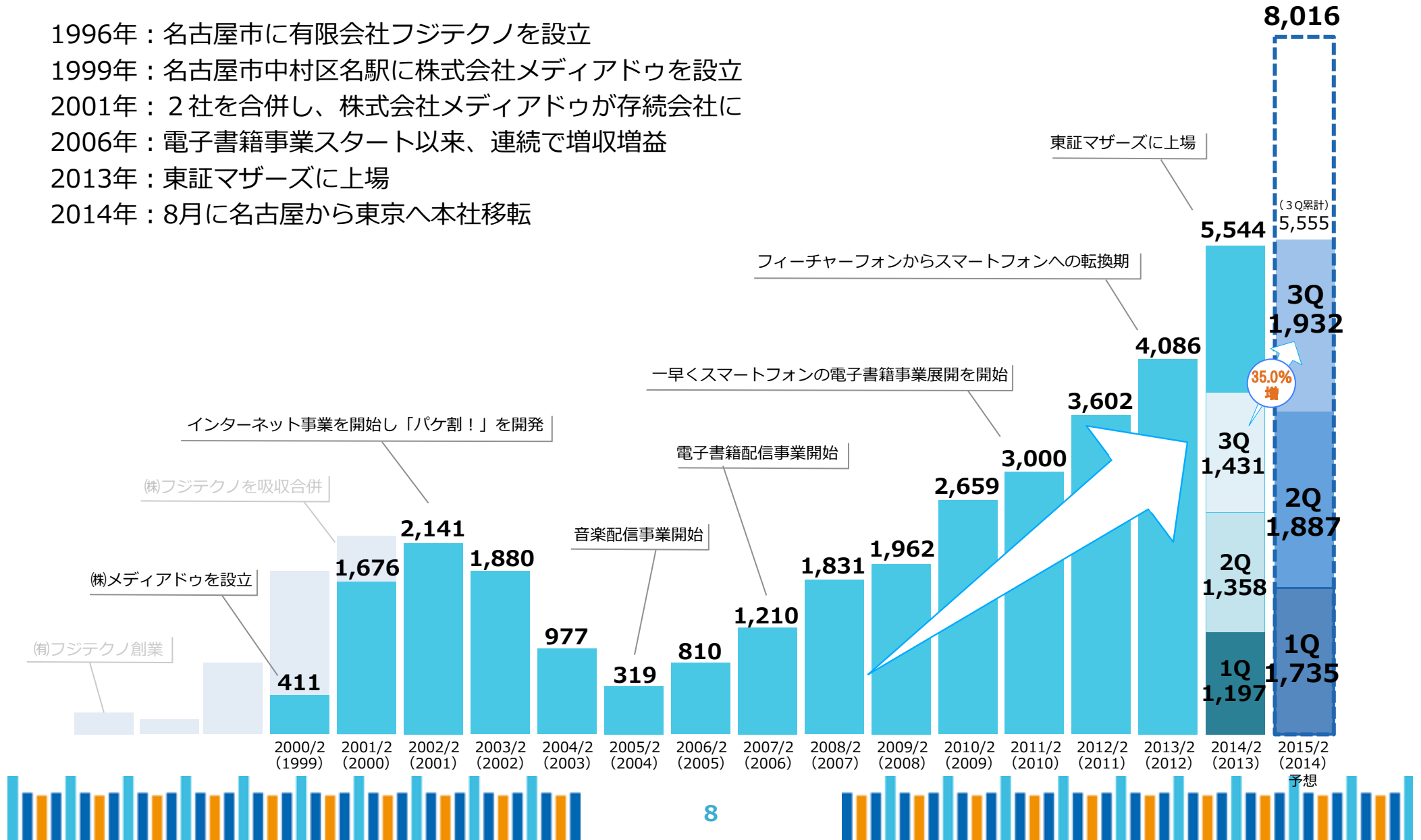
**営業利益 : 266百万円 (前期比141.4%)**





# 売上高の推移

- 1996年：名古屋市に有限会社フジテクノを設立
- 1999年：名古屋市中村区名駅に株式会社メディアドゥを設立
- 2001年：2社を合併し、株式会社メディアドゥが存続会社に
- 2006年：電子書籍事業スタート以来、連続で増収増益
- 2013年：東証マザーズに上場
- 2014年：8月に名古屋から東京へ本社移転



- 1 ビジネスモデル／ミッション
- 2 2015年2月期 第3四半期ハイライト
- 3 **2015年2月期 第3四半期レビュー**
- 4 電子書籍事業の進捗状況
- 5 今後の成長戦略
- 6 参考資料



## 2015年2月期 第3四半期累計実績 (P/L)

(単位：百万円)	2014年2月期 (第3四半期累計)		2015年2月期 (第3四半期累計)			2015年2月期(通期)	
	3Q (累計)	構成比 (売上対比)	3Q (累計)	構成比 (売上対比)	前年同期比	通期予想	進捗率
<b>売上高</b>	<b>3,986</b>	100.0%	<b>5,555</b>	100.0%	139.3%	<b>8,016</b>	69.3%
電子書籍事業	<b>3,290</b>	82.5%	<b>4,773</b>	85.9%	145.1%	—	—
音楽・映像事業	<b>424</b>	10.7%	<b>360</b>	6.5%	84.9%	—	—
ゲーム事業	<b>171</b>	4.3%	<b>117</b>	2.1%	69.0%	—	—
その他	<b>100</b>	2.5%	<b>303</b>	5.5%	302.4%	—	—
<b>営業利益</b>	<b>188</b>	4.7%	<b>266</b>	4.8%	141.3%	<b>403</b>	66.0%
<b>経常利益</b>	<b>163</b>	4.1%	<b>266</b>	4.8%	162.9%	<b>402</b>	66.3%
<b>当期純利益</b> (四半期累計)	<b>101</b>	2.6%	<b>151</b>	2.7%	148.7%	<b>213</b>	71.0%



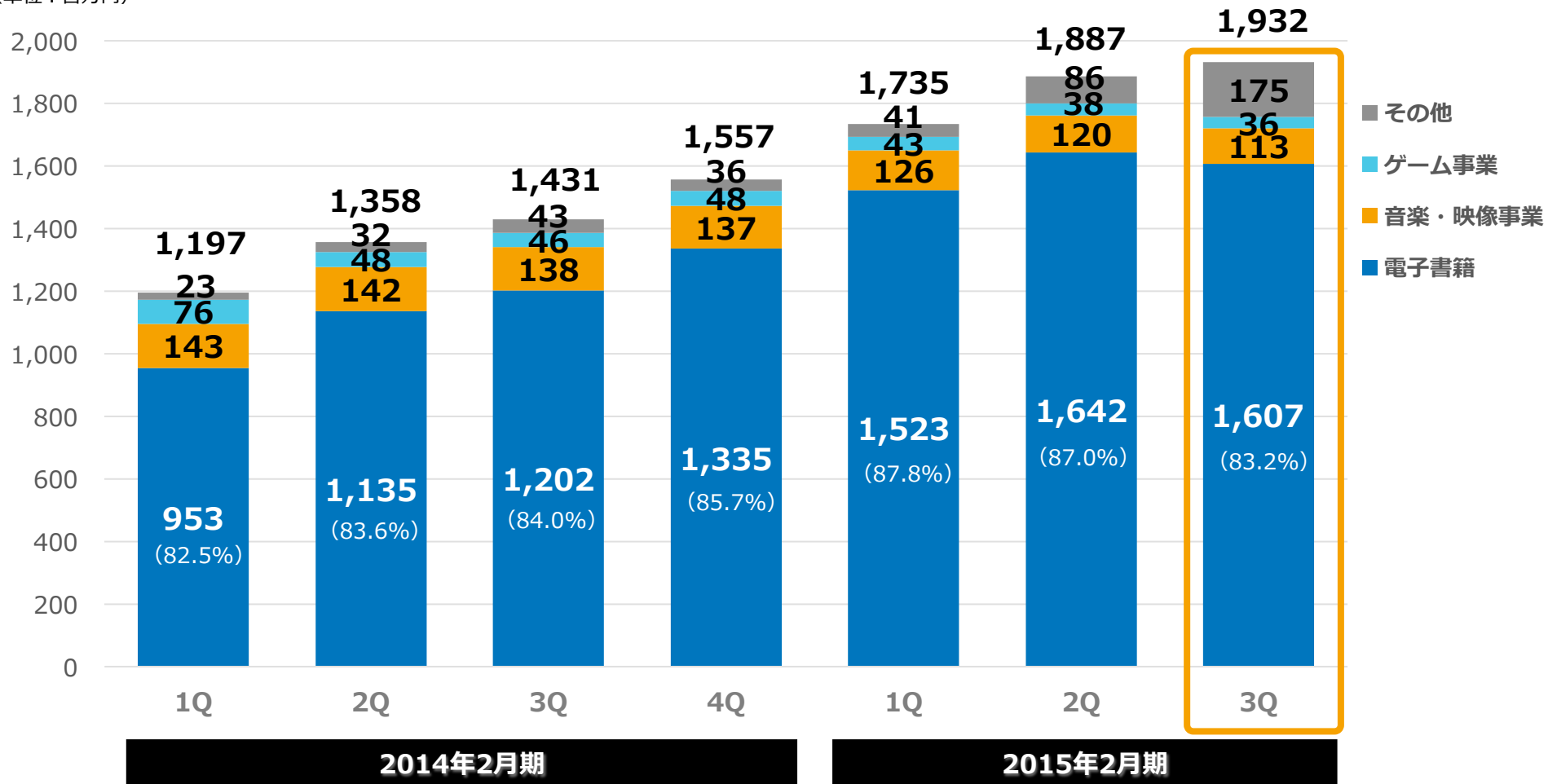
## 2015年2月期 第3四半期実績 (B/S)

(単位：百万円)	2014年2月期 (第3四半期)	2015年2月期 (第3四半期)	前年同期比 (金額ベース)	主たる変動要因、他
<b>流動資産</b>	<b>2,308</b>	<b>3,021</b>	<b>712</b>	
現金及び預金	1,202	1,526	323	事業収益の増加、ストックオプション行使
売掛金	1,074	1,467	392	売上増に連動
<b>固定資産</b>	<b>334</b>	<b>356</b>	<b>22</b>	移転に伴う建物附属設備等の増加等
ソフトウェア	128	107	△21	サーバソフトウェアの償却が進む
<b>資産合計</b>	<b>2,643</b>	<b>3,377</b>	<b>734</b>	
<b>流動負債</b>	<b>1,267</b>	<b>1,617</b>	<b>350</b>	
買掛金	880	1,374	493	売上増に連動
短期借入金 (1年内返済予定の長期借入金を含む)	71	-	△71	当座貸越解消
<b>固定負債合計</b>	<b>13</b>	<b>9</b>	<b>△4</b>	
長期借入金	8	-	△8	長期借入の解消
<b>負債合計</b>	<b>1,280</b>	<b>1,626</b>	<b>346</b>	
<b>純資産の合計</b>	<b>1,362</b>	<b>1,751</b>	<b>388</b>	利益剰余金の増加、ストックオプション行使等
<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,643</b>	<b>3,377</b>	<b>734</b>	



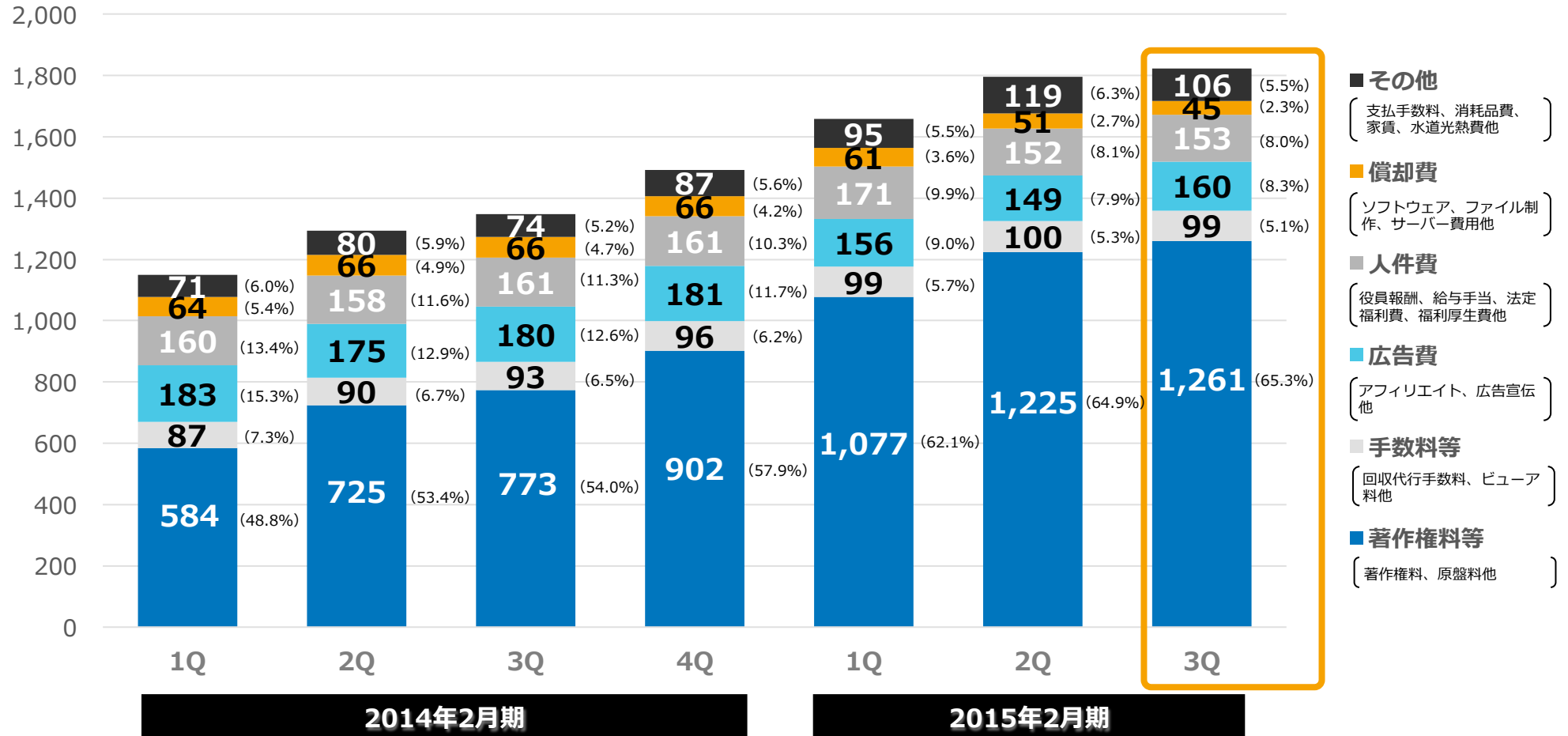
# 事業別 四半期売上推移

(単位：百万円)

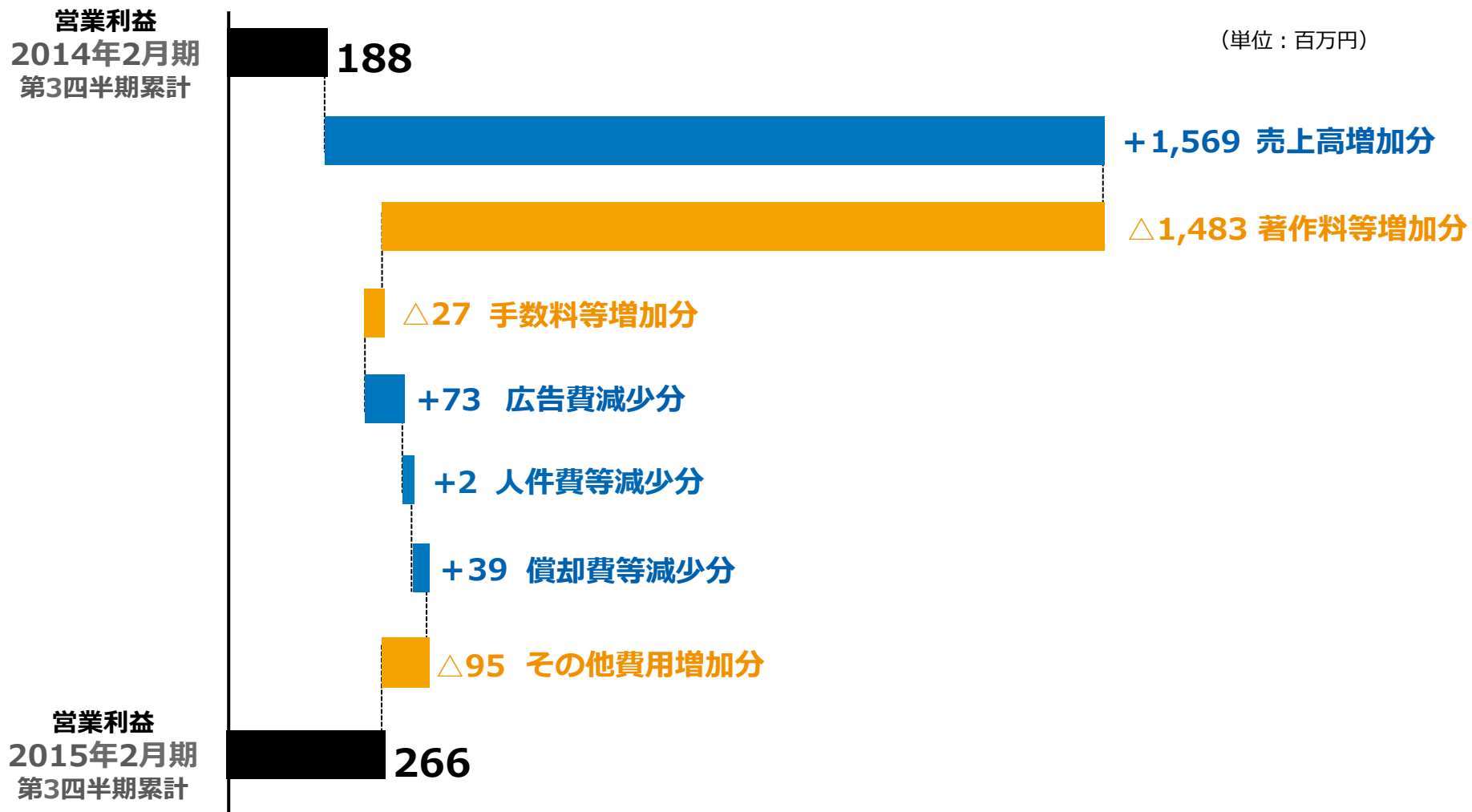


# 四半期コスト内訳の推移

(単位：百万円)



# 営業利益の変動要因



# 2015年2月期 第3四半期 詳細

(単位：百万円)	2014年2月期								2015年2月期							
	1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q			
<b>売上高</b>	<b>1,197</b>		<b>1,358</b>		<b>1,431</b>		<b>1,557</b>		<b>1,735</b>		<b>1,887</b>		<b>1,932</b>			
電子書籍事業	953	79.6%	1,135	83.6%	1,202	84.0%	1,335	85.7%	1,523	87.8%	1,642	87.0%	1,607	83.2%		
音楽・映像事業	143	12.0%	142	10.5%	138	9.7%	137	8.8%	126	7.3%	120	6.4%	113	5.9%		
ゲーム事業	76	6.4%	48	3.5%	46	3.3%	48	3.1%	43	2.5%	38	2.0%	36	1.9%		
その他	23	2.0%	32	2.4%	43	3.1%	36	2.3%	41	2.4%	86	4.6%	175	9.1%		
<b>売上原価、販売管理費</b>	<b>1,152</b>		<b>1,295</b>		<b>1,350</b>		<b>1,494</b>		<b>1,663</b>		<b>1,798</b>		<b>1,827</b>			
著作権等	584	48.8%	725	53.4%	773	54.0%	902	57.9%	1,077	62.1%	1,225	64.9%	1,261	65.3%		
手数料等	87	7.3%	90	6.7%	93	6.5%	96	6.2%	99	5.7%	100	5.3%	99	5.1%		
広告宣伝費	183	15.3%	175	12.9%	180	12.6%	181	11.7%	156	9.0%	149	7.9%	160	8.3%		
人件費等	160	13.4%	158	11.6%	161	11.3%	161	10.3%	171	9.9%	152	8.1%	153	8.0%		
償却費等	64	5.4%	66	4.9%	66	4.7%	66	4.2%	61	3.6%	51	2.7%	45	2.3%		
その他	71	6.0%	80	5.9%	74	5.2%	87	5.6%	95	5.5%	119	6.3%	106	5.5%		
<b>営業利益</b>	<b>44</b>		<b>62</b>		<b>81</b>		<b>63</b>		<b>72</b>		<b>88</b>		<b>105</b>			
<b>経常利益</b>	<b>43</b>		<b>61</b>		<b>58</b>		<b>64</b>		<b>72</b>		<b>88</b>		<b>105</b>			
<b>当期純利益</b>	<b>28</b>		<b>43</b>		<b>30</b>		<b>74</b>		<b>38</b>		<b>51</b>		<b>61</b>			

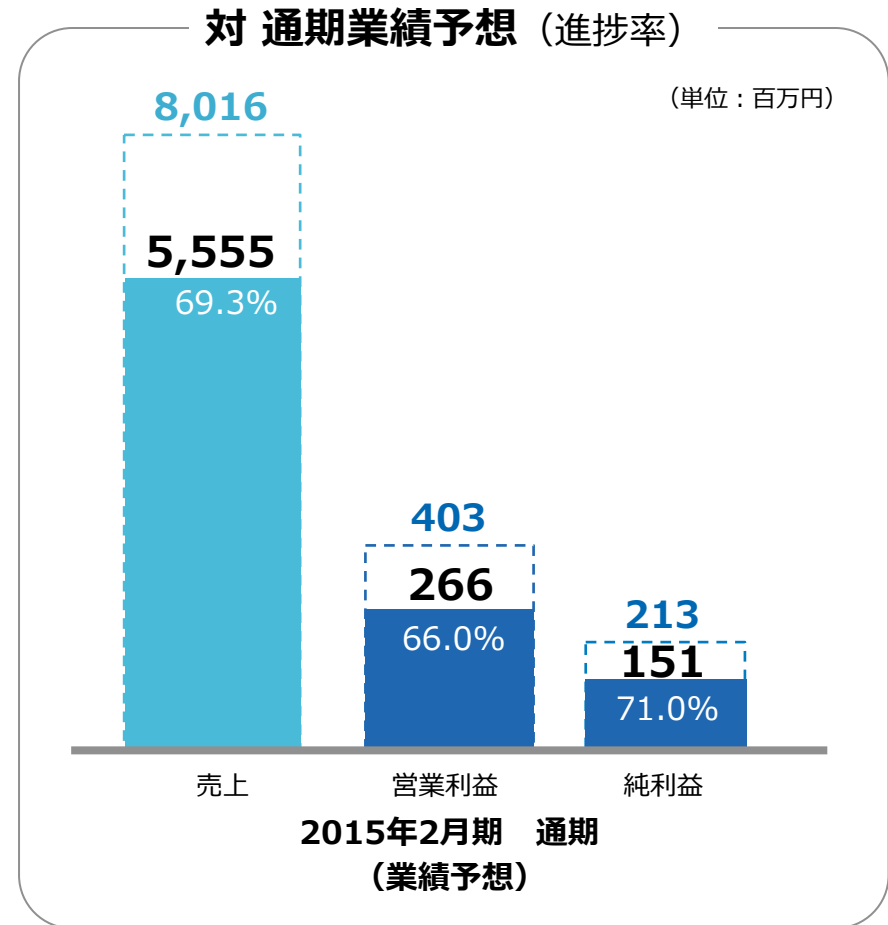
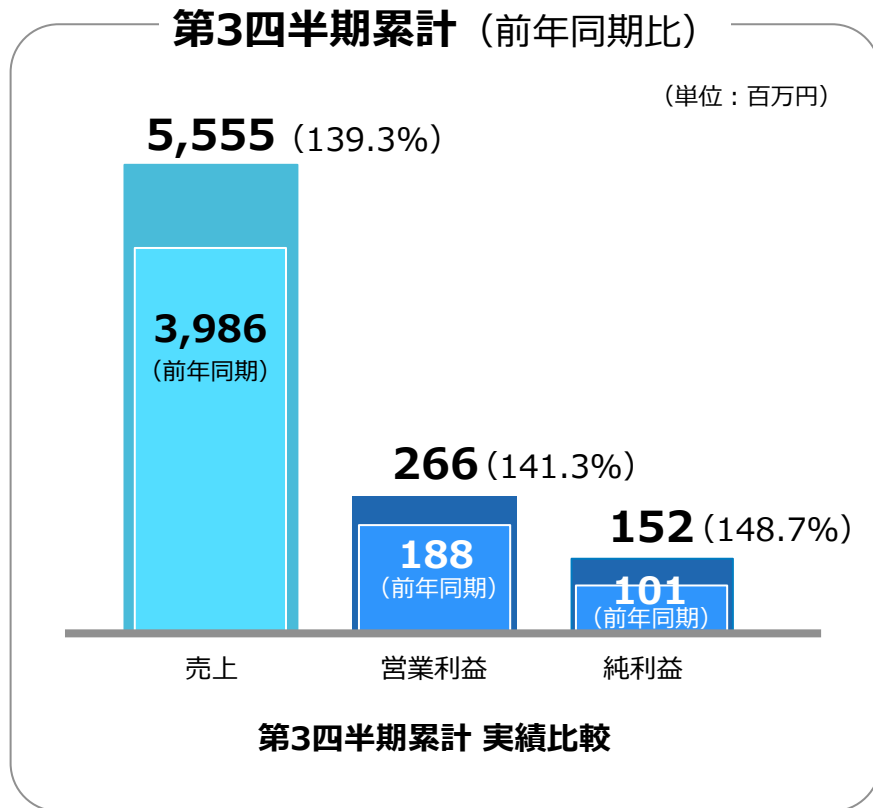
※ %は売上対比





# 2015年2月期の進捗状況

2015年2月期は2Qに続き、3Qは前期比増収増益で推移。3Q時点で前年通期水準に到達。

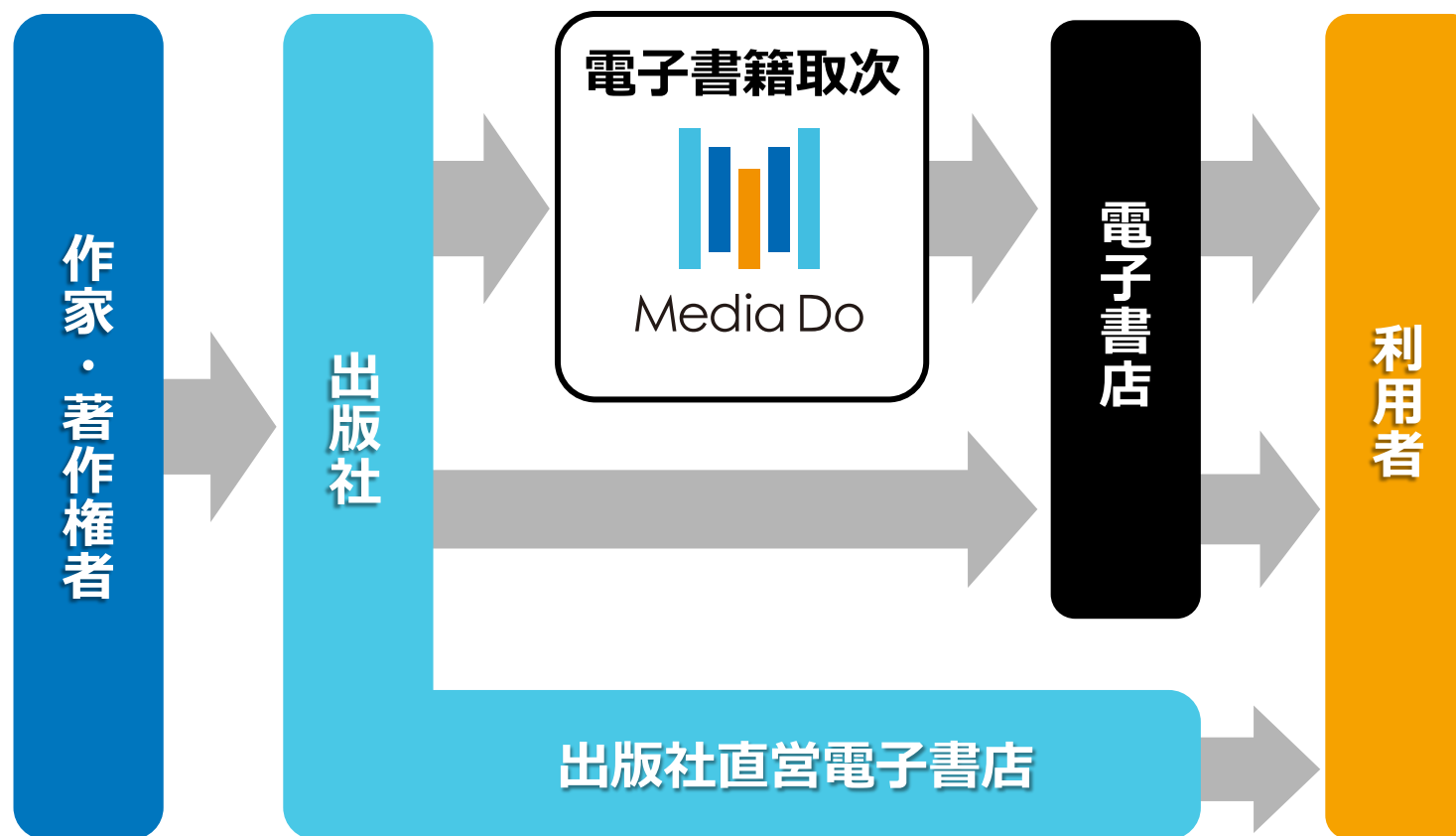


- 1 ビジネスモデル／ミッション
- 2 2015年2月期 第2四半期ハイライト
- 3 2015年2月期 第2四半期レビュー
- 4 **電子書籍事業の進捗状況**
- 5 今後の成長戦略
- 6 参考資料



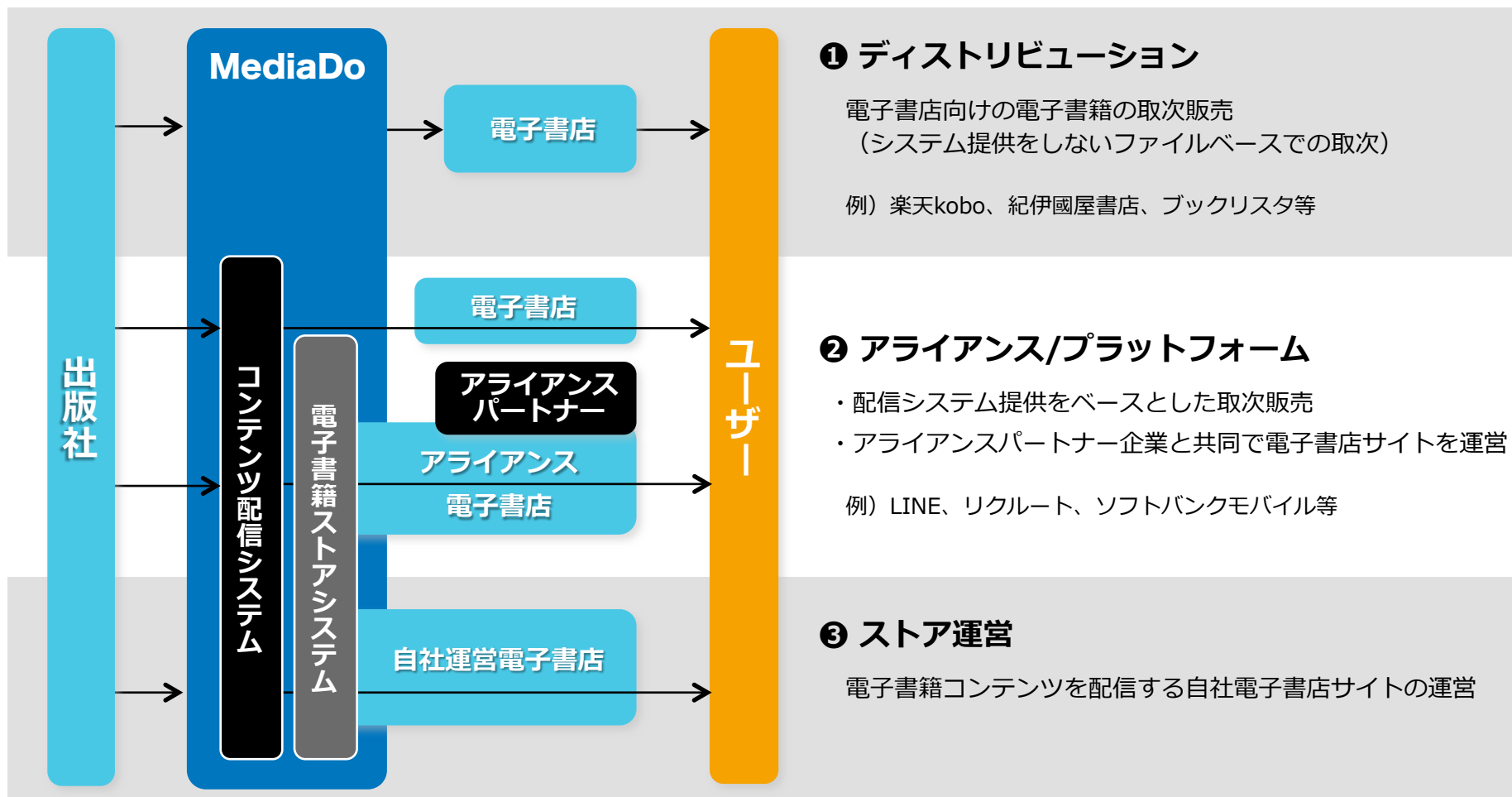
## 当社の事業ポジション

「電子書籍取次」は、ニーズが高まってきた2006年頃にスタート。市場拡大とともに、出版社の煩雑な業務の担い手として定着。その後、取次の利用が主流となり流通シェアは年々上昇。



# サービス形態

当社の電子書籍事業におけるサービス形態については、以下のようになっている。



# サービス形態別売上推移

(単位：百万円)	2014年2月期								2015年2月期							
	1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q			
<b>電子書籍事業売上</b>	<b>953</b>		<b>1,135</b>		<b>1,202</b>		<b>1,335</b>		<b>1,523</b>		<b>1,642</b>		<b>1,607</b>			
①ディストリビューション	259	27.2%	302	26.6%	310	25.7%	404	30.3%	443	29.1%	432	26.3%	386	24.0%		
②アライアンス/ プラットフォーム	386	40.5%	485	42.7%	531	44.2%	570	42.7%	723	47.5%	868	52.9%	886	55.2%		
③ストア運営	309	32.4%	349	30.7%	362	30.1%	360	27.0%	356	23.4%	341	20.8%	334	20.8%		

※ %は電子書籍事業売上を100とした場合の構成比

## ① ディストリビューション

- ・ 2Qにおける出版社による大型の夏期販促施策に対し、3Qは大きな販売施策が少なく売上が減少

## ② アライアンス/プラットフォーム

- ・ LINE、いつでも書店等の売上が2Qに引き続き伸長し、売上構成比も上昇

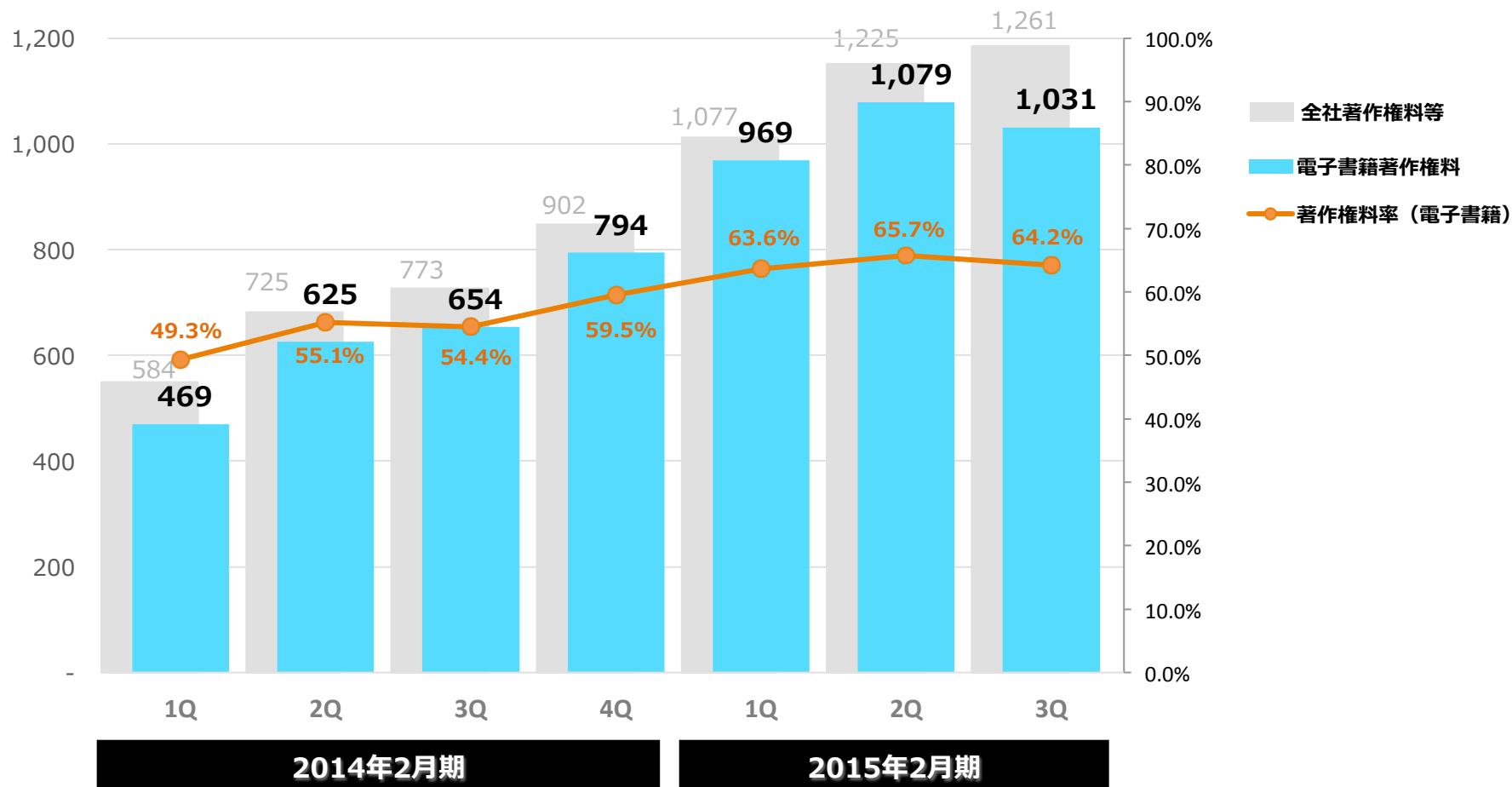
## ③ ストア運営

- ・ 積極的な広告投下を控えたため、2Qにくらべ3Qの売上は微減



# 電子書籍著作料率の推移

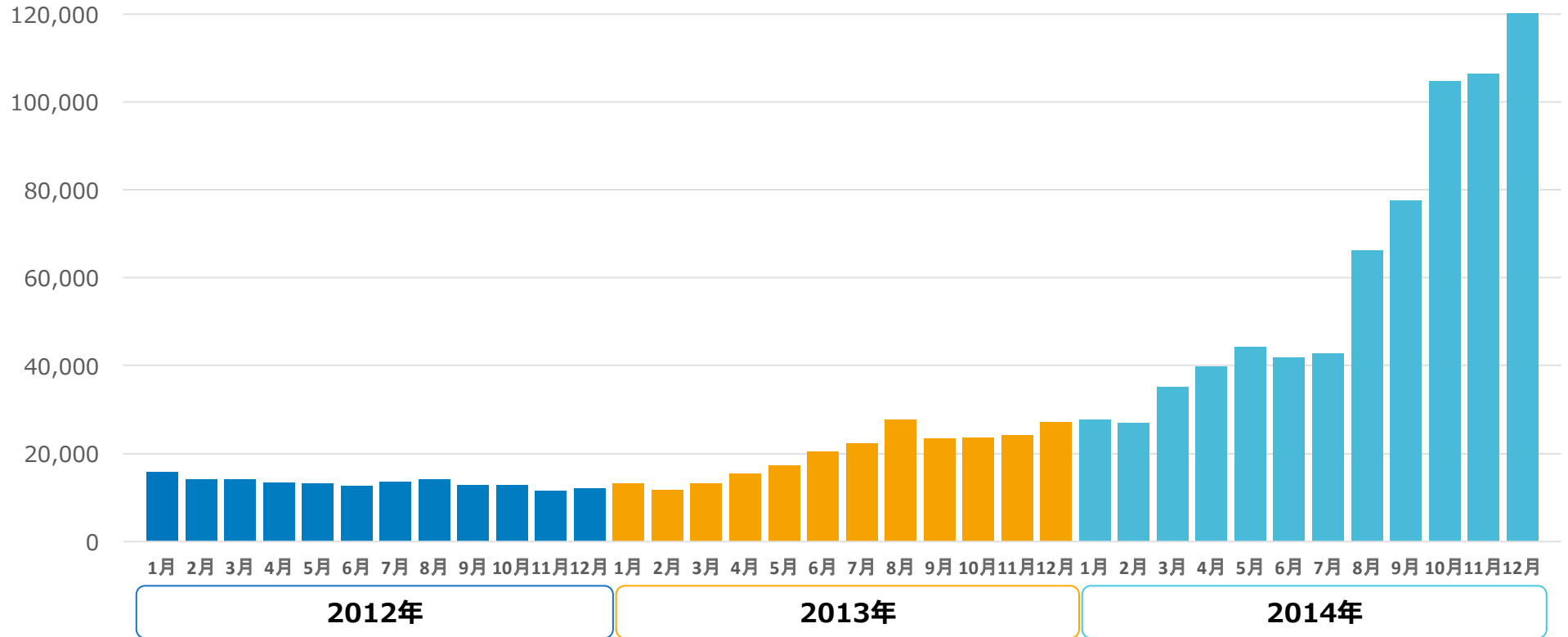
音楽・映像系著作権料や広告仕入れを除く、電子書籍著作料率は僅かながら低下へ。



# ダウンロード（DL）数の推移

「md-dc」における、電子書籍コンテンツのダウンロード数推移（サンプルDLも含む）

(単位：千DL)



※ 上記数値は当社配信サーバー「md-dc」におけるDL数値で、同一購入コンテンツの複数の端末へのダウンロードや端末から削除後の再ダウンロード数は含みません。

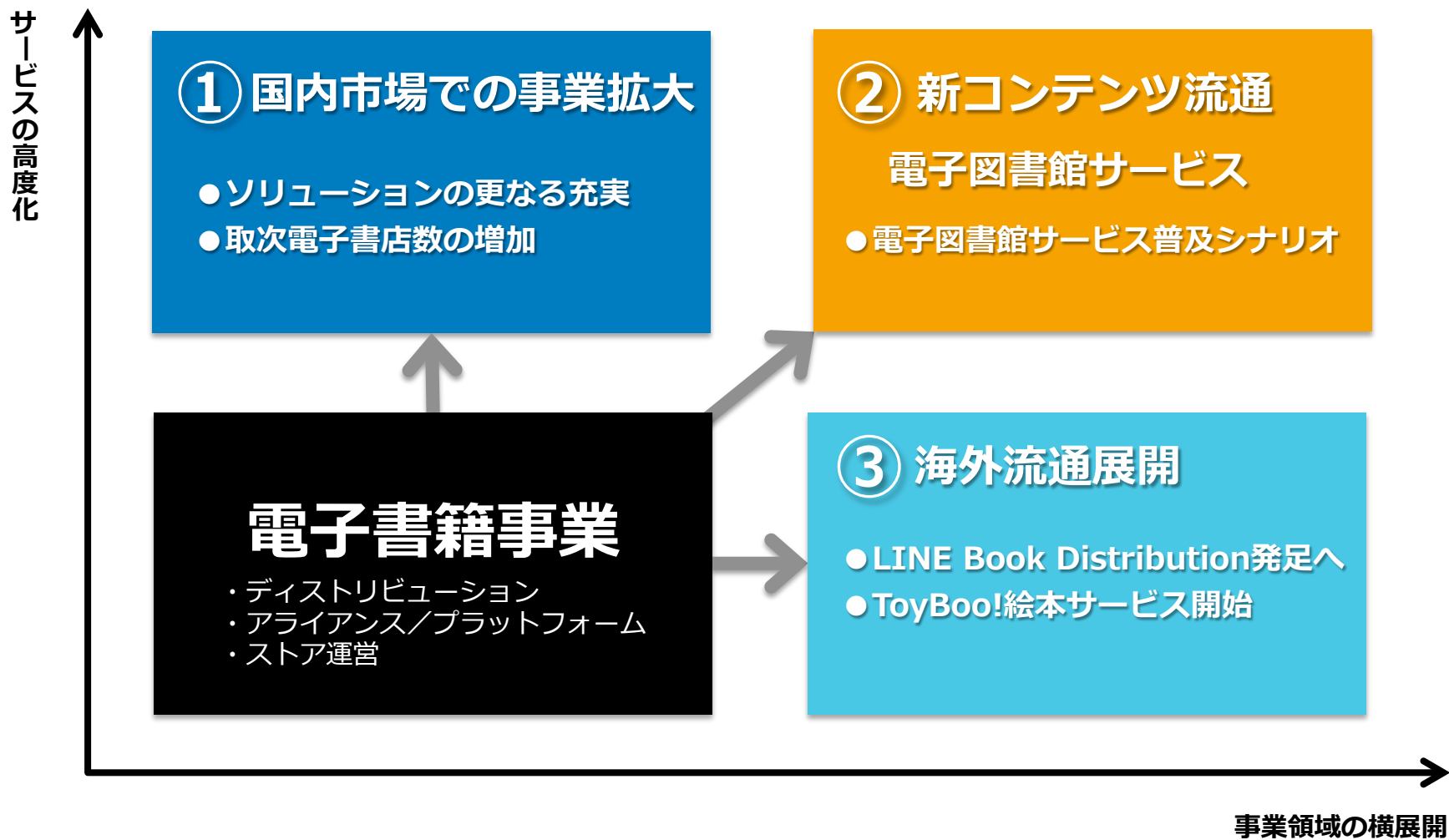


- 1 ビジネスモデル/ミッション
- 2 2015年2月期 第3四半期ハイライト
- 3 2015年2月期 第3四半期レビュー
- 4 電子書籍事業の進捗状況
- 5 **今後の成長戦略**
- 6 参考資料





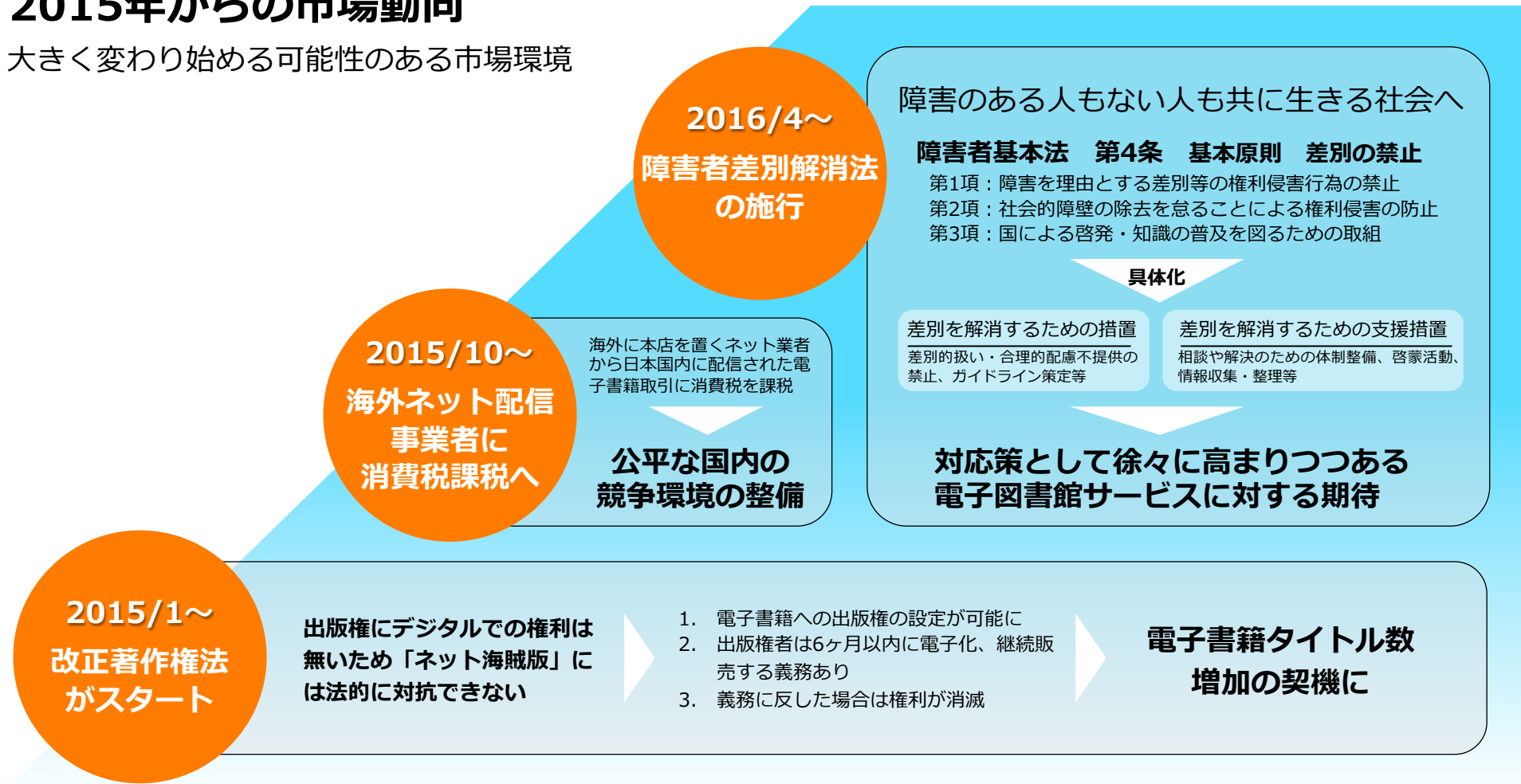
# 成長戦略の基本方針



# 電子書籍業界関連動向

## 2015年からの市場動向

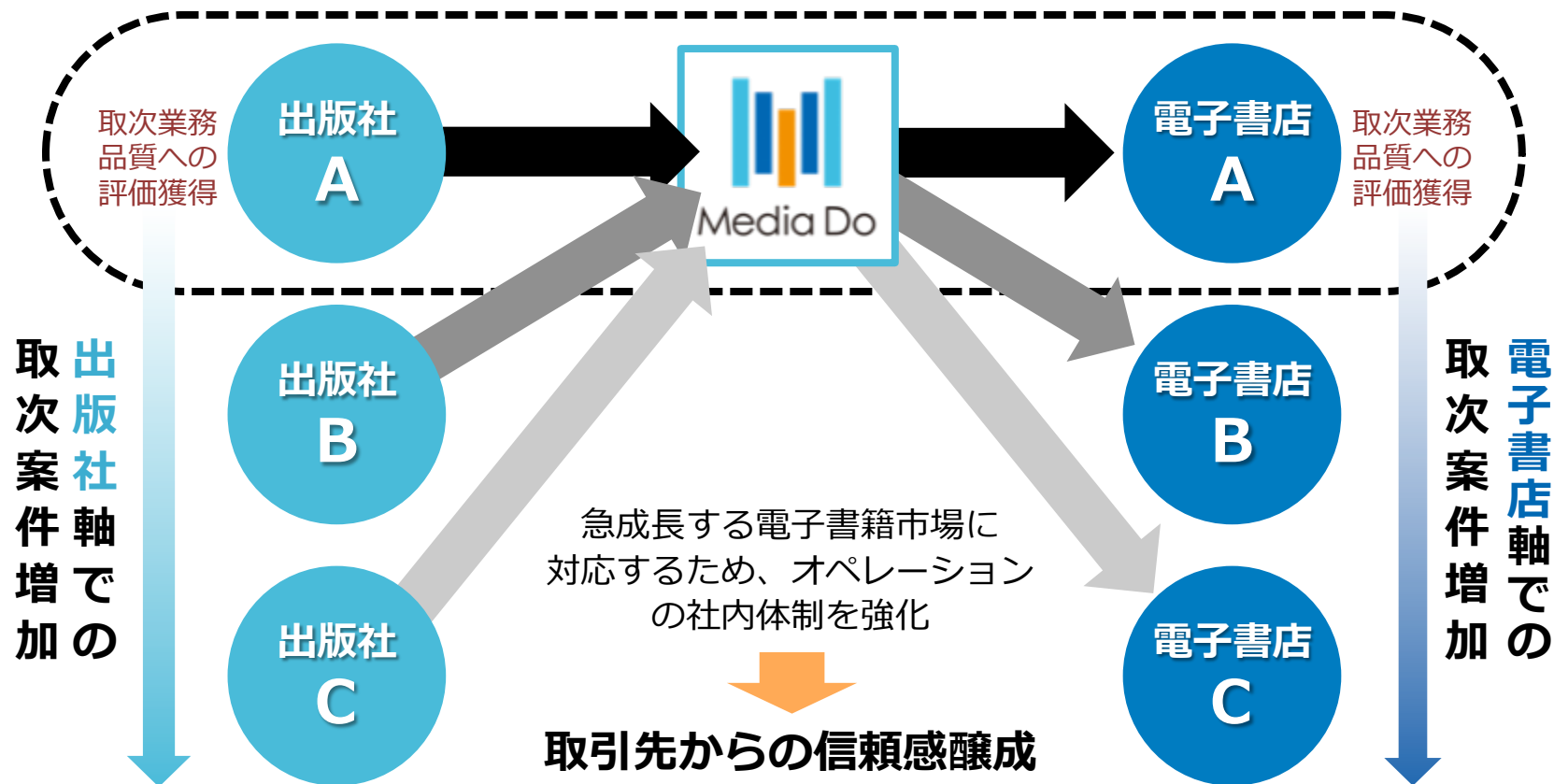
大きく変わり始める可能性のある市場環境



# ① 国内市場での事業拡大

## 取次案件獲得からの取引拡大

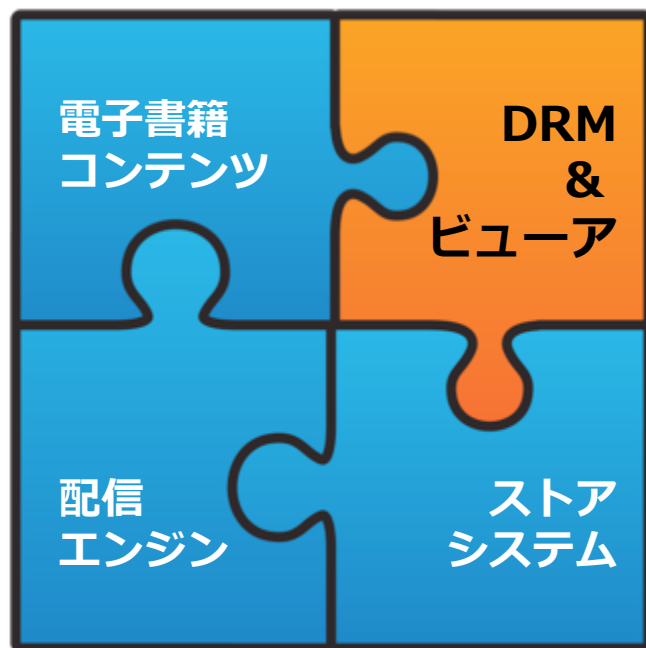
新規取次案件獲得からの取引先拡大



# ① 国内市場での事業拡大

## ソリューションの更なる充実

電子書店展開のためのワンストップソリューションが完成型へ



## メディアドウ独自ビューアの投入



## 高機能ビューアを軸にした事業展開フェーズへ

読書履歴  
レコード・分析

新しい  
読書体験

タイム  
マネジメント  
対応

新規事業モデル創出や読書ビッグデータを  
活用した次世代マーケティングへの布石に



## ② 新コンテンツ流通（電子図書館サービス）

### 第16回 図書館総合展にてブース出展/フォーラムの開催

OverDrive社とメディアドゥが手掛ける電子図書館サービスについて詳しく紹介

電子図書館関連の展示が呼び水となり、過去最高の3万人を超える図書館関係者が来場



メディアドゥのフォーラムは盛況で電子図書館への期待の高さが伺える



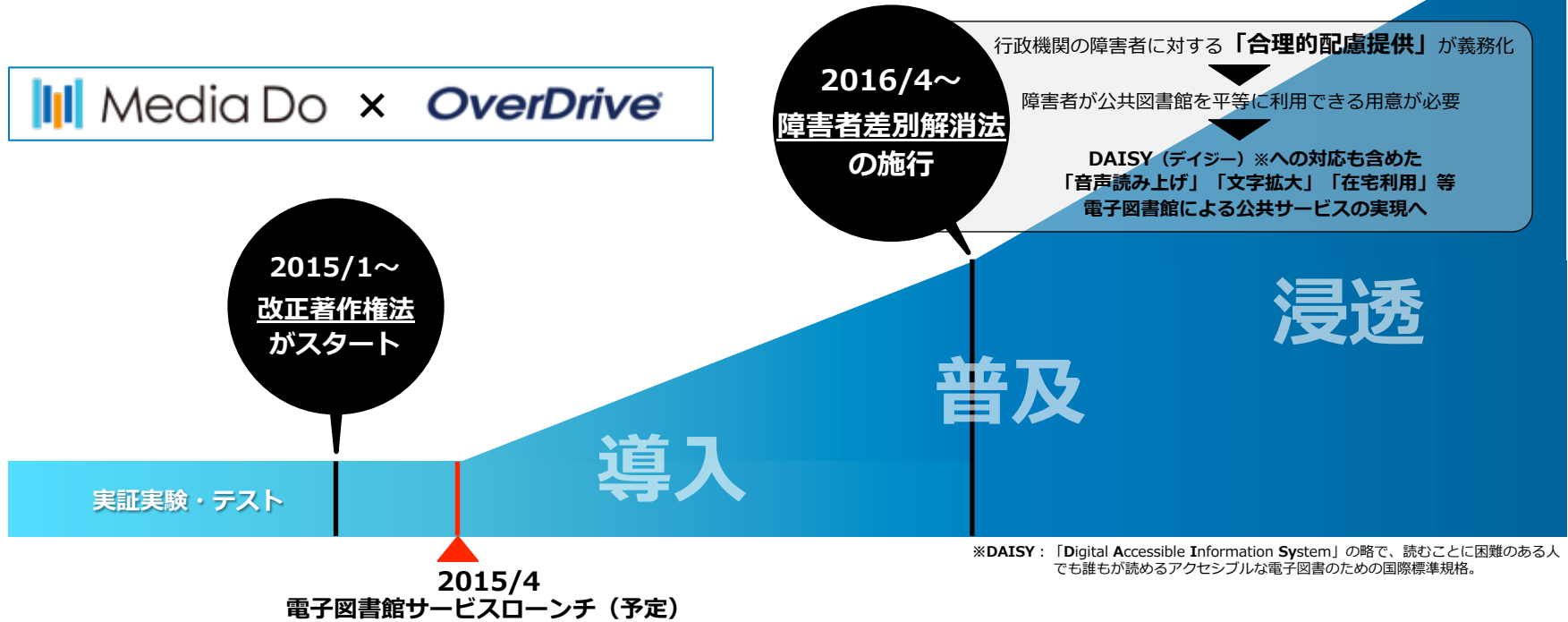
フォーラム会場  
(パシフィコ横浜)



## ② 新コンテンツ流通（電子図書館サービス）

### 電子図書館の普及シナリオ

徐々に高まりつつある電子図書館サービスに対する機運



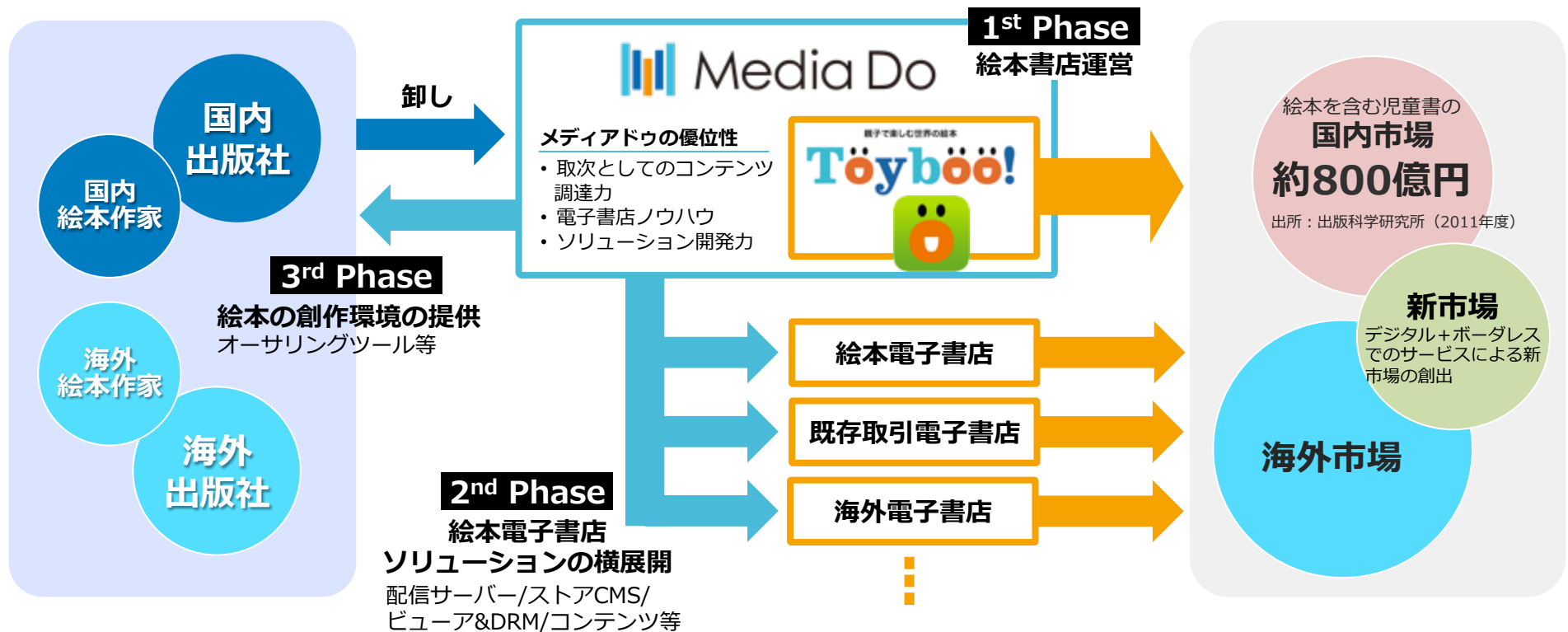
- |       |  |
|-------|--|
| システム  | 電子書籍ビューア改良（EPUB3対応等）                                   |
|       | 電子書籍貸出システム      司書業務サポートシステム      図書館来館者向け所蔵電子書籍紹介システム |
| コンテンツ | 既存図書館システムとのユーザーID認証システム連携                              |
|       | 電子出版権に合わせた出版社・作家間の契約更新と同時進行するであろう「貸出契約」                |



### ③ 海外流通展開

## 「ToyBoo!」絵本サービス開始 2014年12月18日スタート

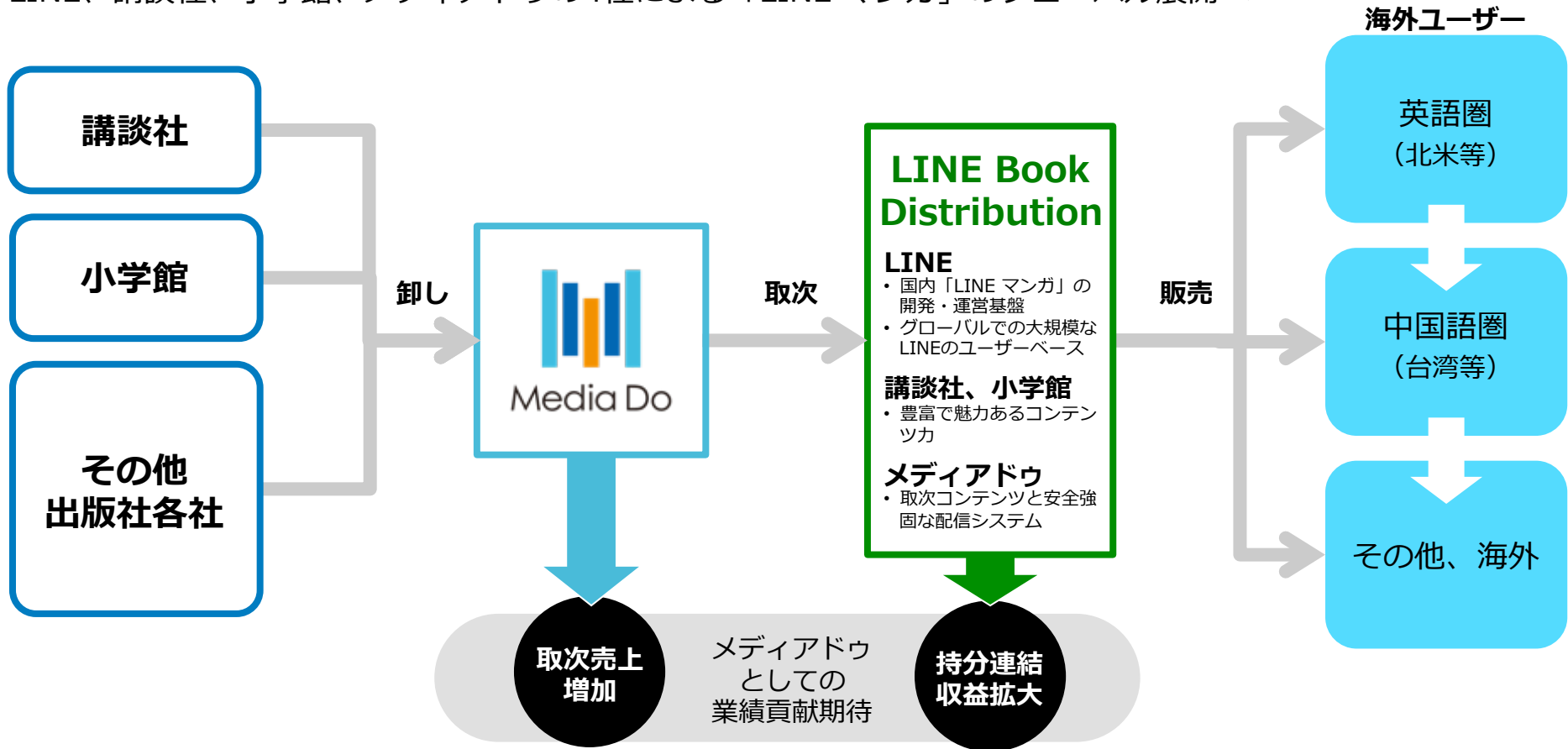
メディアドゥの優位性を活かしたグローバルな絵本ビジネスへの本格展開へ



### ③ 海外流通展開

## LINE Book Distribution発足へ

LINE、講談社、小学館、メディアドゥの4社による「LINE マンガ」のグローバル展開へ





- 1 ビジネスモデル／ミッション
- 2 2015年2月期 第3四半期ハイライト
- 3 2015年2月期 第3四半期レビュー
- 4 電子書籍事業の進捗状況
- 5 今後の成長戦略
- 6 **参考資料**



# 会社概要



【 商 号 】	株式会社メディアドゥ ( MEDIA DO Co.,LTD. )
【 設 立 】	1999年4月
【 資 本 金 】	855,513,750円 (2014年11月末日現在)
【 役 員 構 成 】	代表取締役社長 藤田 恭嗣 (フジタ ヤスシ) 取締役 溝口 敦 取締役 山本 治 取締役 (非常勤) 寺山 隆一 (株式会社ニュース・サービス・センター代表取締役社長) 取締役 (非常勤) 林 郁 (株式会社デジタルガレージ 代表取締役グループCEO) 監査役 大和田 和恵 監査役 (非常勤) 平尾 周三 監査役 (非常勤) 森藤 利明 監査役 (非常勤) 堀 泰人
【 顧 問 】	アドバイザー 伊藤穰一 (MITメディアラボ 所長)
【 従 業 員 数 】	107名 (社員 85名、アルバイト等 22名 / 2014年11月末日現在)
【 本 社 】	東京都渋谷区代々木4丁目30番3号 新宿MIDWESTビル5F (初台)
【名古屋テクニカルオフィス】	名古屋市中区丸の内3-5-10 名古屋丸の内平和ビル9F
【徳島木頭オフィス】	徳島県那賀郡那賀町木頭和無田字イワツシ5-23

本社



名古屋テクニカルオフィス



徳島木頭オフィス



# 将来見通しに関する注意事項と会計監査について

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、本資料内には会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。従いまして、本資料に全面的に依拠した投資等の判断を行なうことは控えていただけますようお願いいたします。





Media Do